

磐城時報

日刊 三 十 夕
編輯 石城郡平町 編輯部 十四
印刷 石城郡平町 印刷部 十四
發行 石城郡平町 發行部 十四
電話 石城郡平町 電話部 十四
郵便 石城郡平町 郵便部 十四
代金 石城郡平町 代金部 十四
廣告 石城郡平町 廣告部 十四
訂費 石城郡平町 訂費部 十四
寄費 石城郡平町 寄費部 十四

湯本町會を開き 平町に水の嘆願

平町遠藤助役談

石城郡地方は打ち續く旱天で何水の補助を仰ぐ事となり十三日
處も水不足を來し大恐慌を演じ朝湯本町長小泉三代喜氏外町會
てゐるが殊に慘酷なのは湯本町議員六名は平町役場を訪ひ遠藤
で、入山炭礦會社關係者は會社助役に對し屢々陳情したが伏見
が坑内から揚水する飲料水で辛町長不在のため確答を保留した
くも間にあつてゐるけれども湯本町に對して遠藤助役は語る。

本町は内郷村の舊三星炭礦が「他町村に水を送る事になれば
水道條例の改正を要するが、
今回の如き事は一時的の事
而も人道上の問題であるから
規則を備へて水を呉れな
いとは言へまいと思ふ、然し
現在平水道の取入量は一日一
萬五千石であるが、平町一日
の使用量は一日一萬七千石に
達してゐる、この不足を補ふ
ため貯水池の湧水を電氣で揚
水して漸やく間に合はせてゐ
る状態であるから、他町村に
水をやる事は事實上不可能の
事と思ふ。云々」

植田町の公會堂 工費一萬五千圓を投じ 和洋折衷の大建築

愈々具體化した

植田町に公會堂建設の計劃ある題とされてゐる字金畑町の舊小
事は既報の如くであるが財源開闢學校跡を適地としてゐるが、町
係から容易に實現の運びに至ら
ず會合にさいして常に痛切な必
要を感じその都度設置の議が持
上がりつゝあり昨今いよいよ濃
厚となつてきた、大體の腹案ど
する處は工費一萬五千圓を投じ
階下を洋室とし一千二百人を
收容し階上に二百人程度を收容
し得る日本間を作り演說會その
他の會合、宴會場等に使用し得
る規模としこれを町が經營して
一般に實費で貸與する方針とす
る、この財源について一部を有
志の寄附とし一部を町費で負擔
し且敷地も現在處分法につき問

入山王國を建設 十五萬圓の巨費を投じ 従業員の待遇改善

經濟的闘争を除いて

二萬近くの労働者を抱擁してゐるし極めて微々たるもので
る常盤地方の各大炭礦は先年のあるため入山炭礦では各炭礦に
労働争議後幾分労働者の待遇に率先し來年度に總工費十五萬圓
就て改善を計る所あつたが、然を投じて従業員優遇の第一歩と

労働者の待遇改善はわが國炭
礦業者にとつて重大問題で常
磐地方の大炭礦もこの点には
可成り苦心し労働者を新設す
るや部分的の日用品(野菜
類)購買部を設けるやらで種
種優遇策を講じて來た、然し
それは型の上だけであつて決
して完全なる労働者優遇でな
い、今度他礦に率先し從來八
疊一間であつた長屋を八、六
の二間に改築従業員冠婚葬
祭或は兒童の勉學上に差支な
い程度とし明年度に十五萬圓
の豫算を計上することとなつ
たが更に之に附隨する事業に
ついては改善を計り完全に經
濟的闘争を除いて入山王國を
建設する考へである、なほ従
業員の最低賃金については目
下極秘裡に調査研究中である
から發表することは遠慮した
い。云々。

石城地方 夏 蠶 况

十四日ごろが出廻り最盛期で
あるが相場は春蠶に比較し二十
割乃至二十五割安の五十圓乃至
五十五圓である、これは桑の發
育が早天續きで不良なものと違
が續出した爲である。

見込のない 公設質屋

石城郡小名濱町では商港實現後
町の發展を見越し公設質屋を開
設すべく大藏省に對して二萬七
千圓の低利資金借入申込中であ
つたが現内閣の緊縮方針によつ
てこれ亦不能となり同町は何處
までも現内閣に崇られ通してあ
らう。

平第一臨海學校通信 (第五信)

八月十日 (晴)
もうすつかり疲れて、どう
やら朝寝も氣持よくなくなつて
しまひました。おかげで朝の
散歩はお流れて、今朝も体操
だけ。
何時の間にか過ぎるのか、
朝の自由時間も去つて、九時
半、海に出る。昨日溺死者が
あつたせいか、入出は少い、
僕もそんな話を聞くこともな
く恐ろしくなつて來ました
けれどもだん／＼と人出も多
く、潮も干、砂も暑くなつて
來たので元氣も出て來ました
明日きりと思ふと陸に上るの
もいたましいやうに思はれま
す。
午後の自由時間にはゴロ／＼
と芋を洗つた様に、黒いから
だをゴ／＼とこころがして、
あち、こちに晝寝する姿を見
せてゐました。
午後二時、再び海に出る。
体がいたい／＼と泣き顔をし

湯本で捕へた男は 全國的大詐欺漢

平警察署湯本駐在兒島巡査は去城中學校グラウンドに於て青年
の九日湯本町三國湯本劇場前體育大會を催す筈で競技種目
飲食店二葉屋方に於て詐欺の嫌は百米、四百米、千五百米、一
疑者與吾軍太郎(五一)を取押へ萬米、走幅跳、走高跳、砲丸投
た事既報の如くであるが、平警八百米リレー、剣道、柔
察署で取調べた結果同人は愛知、相模、本年度から成績優
縣愛知郡長久村大字前熊生れの秀な團体に對し優勝旗並に優勝
カップを授與すること。
鼻の薬「チクノール」
平五 山野 邊藥局

強姦事件 實地檢證

神谷村大字上片寄木村末治(十
八假名)は去る六月二十八日夏
井村藤間海岸松林の中に於て附
近で水泳中の同村字下大越同村
収入役娘坂本ユウ(十二假名)を
強姦した事件は平署に於て取調
べた上平檢事局に送り目下豫審
に附されてゐるが、中谷豫審判
事は十三日平署警部補と共
に實地檢證を行つた。
結果七A對六、あゝ我々生徒
軍は惜敗しました。
メンバーは
生) 竹田 田木 谷澤木
水 林 上野
上川 瓜 鈴木 水金野
投捕 1 2 3 遊左中右
徒) 木竹木貞) 目谷谷野川
々々 邊田
(生) 佐大鈴渡新大流萩石
宿舎に寝るのも今夜限り。明
日の今頃はお父さん、お母さ
んの許に久しぶりで歸れるの
だ。(午後七時)

聯合青年 體育大會

石城郡聯合青年團では來る八月
二十七日午前九時半から平町警
署で元氣も出て來ました
明日きりと思ふと陸に上るの
もいたましいやうに思はれま
す。
午後の自由時間にはゴロ／＼
と芋を洗つた様に、黒いから
だをゴ／＼とこころがして、
あち、こちに晝寝する姿を見
せてゐました。
午後二時、再び海に出る。
体がいたい／＼と泣き顔をし

牛肺疫で 屠殺の指令

石城郡勿來町字紫荒川榮次宅で、は去る五月茨城縣東茨城郡農會の斡旋で朝鮮から百三十七頭で鮮牛一頭を購入農事に使役して居たが今回突然農林省から右牛は傳染病牛肺疫に罹つて居るかして来たので縣では小林、橋本の係員を急派し十一日午後四時同牛を屠殺し肺病を本署に送り檢査することになったがこの牛は目下懷孕中で飼主榮次方では非常に可愛がつて居り突然撲殺され家人は驚き且つ悲しんで居る、斯の如く本省から屠殺の指令を受けたのは本縣で始めてある。

白銀青年 體育講習

平町白銀町青年團では十二日から十四日まで慶應大學選手板橋政治郎氏を招き體育の講習をうけてゐるが、十三日は来る二十五日平町町民體育大會に出場する選手の一萬米豫選を行ふ。

原町通信

連日賑はふ 海水浴場

連日の暑さに海岸線の各濱は大盛況、殊に各學校の夏期休暇があつて雪崩を打つて入込んだ連日中、殆んど貸間ふさいで居るほどであり日曜などには附近から詰めかけた連中が割込み晝食時などは先を競つて注文殺到しつゝある有様、自動車屋等の如きも連日の大繁昌で此の時こそ

時報文藝

夏

(八) H S 生
濱邊に來て見る人々でなければ味はれない自然の美は、こどもゆくりなくチャームさせられる。
この月、この海を眺めつゝ、あらゆる煩惱と苦痛とより、只幸福な、余りに幸福な世界に移り住む事を希ふ。
此の月を何處で見てもそれは決して不幸であつてははいけな、最も自然に近付かなければならぬ。
いけぬ。
夏川の海水邊にそゞろ水音に振返る。波は月影を追つて碎け台ふ。白砂の丘に明笛の吹く音、夏の夜に單衣の袖を通し吹く風の連々に流れて來るの、一入感激を覚えさせられる。斯ふして夏の日は、愉快で超發的であり、夜は秘で夏らしく胸のどろく事であらう。

壓倒的陣容尙整然 九日替り名番組

東亞キネマ特作！ 殺陣近藤登 監督村越章三郎 殺陣近藤登 新進八雲燕之助、羅門光三郎 史劇 建國の鐘
マキノ特作篇中の雄 監督阪田量助 南光明、市川崑、谷共演
市川米十郎、津賀清子、住ノ江田鶴子、津賀静子、市川鶴龜助演
大帝キネマ特作秘藏篇 監督渡邊新太郎 久野 人氣隨一松本三郎、久野 あかね主演
時代劇 夜の狼
實に凄惨な白刃の持主 夜の狼は果して何者？
近日上映
マキノ水戸黃門 切封 大作篇 市川百々之助映畫 帝キネマ市川百々之助映畫 花吹雪 新八 封切 土日學生デー 帝キネマ、マキノ、東亞 有聲 座

島千鳥月白浪

父乙三郎儀新益に相當り候へ 共時節柄提燈其他一切の供物 御辭退仕度候條何卒不惡御諒 承被成下度以紙上申上候也
平町 搔龜 小路 阿部政右衛門

小島彌三郎

亡父新益に相當り候處時節柄 提灯其他の供物一切御辭退仕候 間何卒不惡御諒承奉願上候
平町 三丁目 小島彌三郎

柏原喜八郎

父喜代松儀新益に相當候 へ共時節柄提燈其他供物 の御惠與一切御辭退仕り 度此段御諒解願上候
平町 一丁目十四番地 柏原喜八郎

飯田近治

亡母ツル新益に相當居候處 時節柄提燈その他供物は 一切御辭退申上ぐる事に致 し候間御諒承被下度候
平町 紺屋町 佐藤作平

永山和平

永興院淨圓蝶華清大姉新益に 相當り候處時節柄提燈其他 供物一切御辭退仕り度候間此段 御諒承之程願上候
昭和四年八月九日 永山和平

中風靈藥

青應山家傳 定價 一週分 二週分 三週分 一・九〇 三・七〇 五・〇〇
男女中風症、腦溢血、動脈硬化症、逆上引下げ、頭痛、言語難澁、半身不隨、其他中風より起る諸症に偉効を奏す。是非御試用を勸む。
代理店 平町五丁目角 山野邊藥局

一葉印刷所

印刷物は 加納活版所 平町 字 仲町 電話 七三四番

大内提燈

平町 一丁目(日進堂隣) 電話(呼) 三三六番

平町 前 電話 三三七 阿部石炭商店